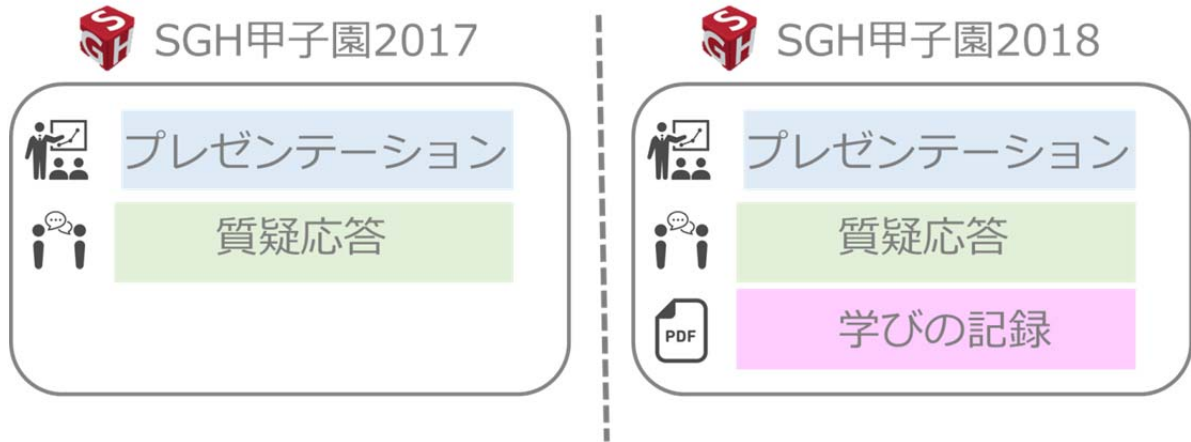


課題研究の活動履歴「学びの記録」提出について

<概要>

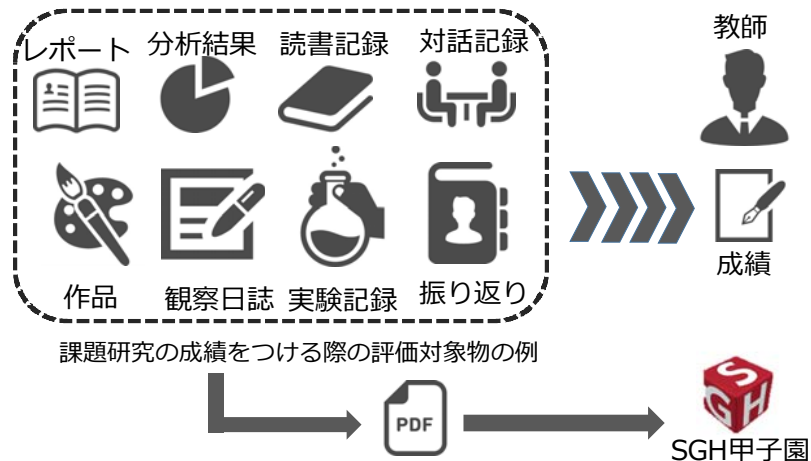
SGH 甲子園 2017（昨年度）では、大会当日におけるプレゼンテーション及び質疑応答を審査の対象としてきました。SGH 甲子園 2018（本年度）では、課題研究における生徒の「主体的・対話的で深い学び」をより詳細に審査するために、課題研究の活動履歴「学びの記録」も評価の対象としています。

※SGH 甲子園 2018 応募要項 P.1 記載



<「学びの記録」の内容>

- ★ これまでのプロセスを見る資料として提出してください。先生方が普段生徒の学びのプロセスを評価し、成績をつけるために対象としてきたものを提出してください。
- ★ 「学びの記録」は、今回発表の課題研究テーマに関連したものに限定して提出してください。形式は問いません。生徒が記入した振り返りのみでも構いませんし、それらに対する教師のフィードバックを含めたものでも構いません。あるいは生徒の作ってきた成果物でも構いません。発表当日のパフォーマンスだけでなく、日々の探求活動の奥深さを審査員に伝えることを意識してください。ただし、SGH 甲子園での発表のために新たに作成いただく必要はありません。これまでに、実際に成績をつけるために評価してきたものを提出してください。
- ★ 課題研究を課外活動として実施しており、「成績」をつけていない場合には、「成績をつける」と仮定した上でご提出内容を選定してください。



学びの記録提出のイメージ

<「学びの記録」提出の際の留意事項>

- (1) 「学びの記録」を提出する際のフォーマットは、**PDFのみ**となります。
- (2) 提出できるファイルの個数は**1つのみ**となります。
- (3) グループで発表する場合、**全員分の記録を1つに統合**して提出してください。
- (4) 「学びの記録」として提出する内容は、**SGH 甲子園で発表する課題研究に関する事のみ**となります。例えば、海外での文化交流を研究テーマに選定しているにも関わらず、体育祭での活動の振り返りが含まれている場合、審査の対象からは外れます。体育祭での活動が SGH 甲子園での発表に関わるのであれば、その根拠を明確に記してください。
- (5) 「学びの記録」の書き方、量に関しては全て各学校での判断に委ねられます。
- (6) 提出ファイルは、**研究成果プレゼンテーションに出場するグループの学びの記録のみ**となります。発表者が4名の場合、4名分をファイルに含めてください。決してクラスや学年単位のファイルを提出しないでください。提出された場合、発表対象のデータを探す事が困難になるため評価不可能になる可能性があります。
- (7) PDF 化する際、中身のレイアウトを確認してください。中身が正しく表示されていなければ意味がありません。

<「学びの記録」提出方法と期限>

【提出方法】

◆必ずオンラインストレージ（例：firestorage など）を使ってご送付をお願いいたします。

※容量が大きい場合、直接メールにて受取ることが不可能な場合があるためです。

※ファイルの保存期限は最長にしてください。

※提出フォーマットは **PDFのみ**となります。

◆送付先：sgh-kse@kwansei.ac.jp

※送付の際は、高等学校名、ご担当の先生の氏名をご記載ください。

【提出期限】

2018年3月10日（土）まで

【その他】

オンラインストレージが使用できず送付が不可能な場合などは、別途ご案内を差し上げますので、必ず下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

（問い合わせ先）

メールアドレス：sgh-kse@kwansei.ac.jp

電話番号：0798-54-6410（SGH 甲子園事務局担当者：中村、奥野、松井）

<「学びの記録」に関する取扱について>

「学びの記録」につきましては、個人情報、肖像権に関する取扱について（SGH 甲子園 2018 応募要項 P.9 記載）と同様とします。